

シリア学校に空爆、児童 22 人死亡ーユニセフ

(スプートニク 2016 年 10 月 27 日 21:10)

© AFP 2016/ Omar Haj Kadour <https://goo.gl/Pb83cL>

国連児童基金(ユニセフ)は、シリア北西部のイドリブ県で児童 22 人と教員 6 人が死亡したと発表した。ユニセフのサイトに掲載された、アンソニー・レイク (Anthony Lake) 事務局長の声明に書かれてある。レイク事務局長は次のように指摘した。

「得られた情報によると、今日シリアのイドリブ県で学校の建物が一度ならず空爆を受けたときに、児童 22 人と教員 6 人が死亡した。」

どの攻撃の結果児童が亡くなったのかについての情報は、ユニセフの声明にはない。

<http://sptnkne.ws/c7xE>

イラン最高指導者、テロとの戦いにおける西側の誠意に疑問

(スプートニク 2016 年 10 月 27 日 21:08)

© AFP 2016/ Iranian Supreme Leader's Website <https://goo.gl/uv1kHR>

イランの最高指導者アリー・ハメネイ師はシリアやイラクでのテロ根絶に対する西側諸国連合の誠意に疑問を抱いている。国営イラン通信 (IRNA) は、ハメネイ師による、米国と一連の西側諸国のテロとの戦いについての声明と行動に関する次の言葉を報じた。

「これらの国家は自らの問題を全て、自らの利益のプリズムを通して検討しており、シリアやイラクでのテロ根絶について考えていない。」

ハメネイ師は 26 日、フィンランドのサウリ・ニーニスト大統領との会談中に次のような声明を出した。

「戦争終結のためには、(戦争を)扇動した嚆矢と要因を発見する必要があるのに対し、米国と一連の諸国はシリアでの政権交代を要求している。」

先に米誌『Foreign Policy』が報じたところ、米議会の非公開ブリーフィングである参加者が、シリアのアサド大統領を殺害することで同国危機を正常化するよう提案した。

<http://sptnkne.ws/c7y4>

国連安保理、ニュージーランドのシリア決議案を却下、わずか1箇所で見解決裂

(スプートニク 2016 年 10 月 27 日 17:52)

© AFP 2016/ Don Emmert <https://goo.gl/i127Eu>

国連安保理のメンバーらはニュージーランドが提案したシリア決議案に協力することを拒否した。ニュージーランドのジェラルド・ヴァン・ボヘメン国連大使が明らかにした。

ニュージーランドの提出した決議案はシリアのアレッポの状況で2つのイニシアチブが失敗した後の妥協案となりうる内容で、「一般市民を死に至らしめ、民間のインフラを破壊しうるアレッポへの全ての攻撃を空からのものも含めて完全に停止する」要求を含んでおり、また48時間の「人道停戦」、医療非難、政治プロセスの復活を行う呼びかけがなされていた。

ヴァン・ボヘメン国連大使は、今週行われた決議案の討議で「一方の側が我々の案に書かれた主要なパラグラフ（「攻撃停止」を示した部分、編集部注）はアレッポ東部へのあらゆる空爆を停止させるものであるため許可できないと言い、別の側は、決議案はあらゆる空爆を停止させるものではないから許可できないと主張した」と語っている。

ヴァン・ボヘメン国連大使は「決議案はここ数週間で三度も失敗しているがこれは誰の利益にもならない」と指摘した。

<http://sptnkne.ws/c7zF>

ロシア国連大使：シリア・イラク情勢について多くの人が「罪の罰」を受けることになる

(スプートニク 2016 年 10 月 27 日 19:20)

© AFP 2016/ Dominick Reuter <https://goo.gl/ulCrr5>

ロシア国連大使ヴィタリー・チュルキン氏は、シリア、イラクなどの国々で起こっている多くの紛争について多くの人が「罪の罰」を受けることになる、と述べた。チュルキン氏は国連安全保障理事会で英米他のシリアにおけるロシアの行動に対する非難に応答。米国率いる有志連合がマンビジに対して行った空爆で数十人の市民が死亡したことや、ベルギー空軍がアレッポ州ハッサジェク村を空爆したことなどを指摘した。

チュルキン氏はまた、イエメンで8日葬儀が空爆され140人以上が死亡、500人以上が負傷した事件にも触れた「シリア情勢やイラク情勢、そして我々の知っている他の多くの状況について、多くの人が罪の罰を受けることになる」とチュルキン氏。

<http://sptnkne.ws/c743>

フィリピン大統領、日本との合同演習の可能性を排除せず

(スプートニク 2016 年 10 月 27 日 19:51)

© AFP 2016/ Eugene Hoshiko <https://goo.gl/rL32WV>

フィリピンは日本との合同軍事演習を行う可能性を排除しない。訪問先の海上保安隊横浜基地でフィリピンのロドリゴ・ドゥテルテ大統領が述べた。

共同通信によれば、大統領は「軍事演習？ もちろんだ。問題はない」と述べた。今日終わりを迎える 3 日間の訪日でこの問題の「一般的な性格」が討議されたという。

「非常に生産的な訪問だった」と大統領。

水曜、安倍首相との会談後、両国は、南シナ海におけるいずれの紛争も平和的手段によってのみ解決しなければならないことで合意した。「このような紛争は平和的に解決されねばならない。私たちはこの問題について日本と協力していきたい」とドゥテルテ大統領。

<http://sptnkne.ws/c75S>

ロシアとシリアの航空部隊、アレッポ周辺を飛行しなくなって 9 日目

(スプートニク 2016 年 10 月 27 日 21:59)

© Sputnik/ Dmitriy Vinogradov <https://goo.gl/crJ6rV>

ロシア航空宇宙軍とシリア空軍の航空機はすでに 9 日アレッポ 10 キロ圏内を飛行していない。ロシア国防省報道官が述べた。しかしテロリストらは市街地に発砲し、人道回廊ぞいに民間人が脱出することを阻んでいる。夜間、戦闘員らは、シリア政権派およびロシア敵対勢力調停センターの約 40 人をアレッポ東部から安全地帯に引き出そうとする試みを阻害した。

一方ロシア軍は、アレッポの人々に食品 15 トンを人道支援として届けた。ロシアはアレッポ東部の人道的状況を改善するために全力を尽くしている、とロシア国連大使ヴィタリー・チュルキン氏。停戦はシリアの 800 以上の居住区で行われており、これに既に約 70 の武装グループが参加している。しかしアレッポ東部の人道危機に国連は明らかに対処できていない、と同氏。

ジョン・ケリー米国務長官はシカゴ国際関係評議会で、シリア紛争解決はイランとロシアの参加なしには不可能であり、両国を排除するのは大問題、と述べた。

<http://sptnkne.ws/c788>

マルタ共和国、ロシアの船には燃料補給を許可しない

(スプートニク 2016 年 10 月 27 日 22:13)

© 写真: Public Domain <https://goo.gl/8f79qK>

マルタ共和国のヴェッラ外相はタイムズ・オブ・マルタ紙に対し、同共和国はロシア船籍に対し港での燃料補給を今後一切認めないことを明らかにした。マルタ外務省は地中海を航行のロシア船には今後一切の燃料補給を許可しないことを明らかにしている。

ロシア国防省は 26 日、空母「アドミラル・クズネツォフ」が燃料補給のためスペインのセウタ港に寄港を計画していたものの、これを拒否されたというデマを否定している。

<http://sptnkne.ws/c7A7>

ヴァルダイ会議にプーチン大統領も出席

(スプートニク 2016 年 10 月 27 日 23:27)

© Sputnik/ Anton Denisov 1/2 <https://goo.gl/fzi26B>

プーチン大統領は 10 月 27 日ソチで開催の国際討論クラブ「ヴァルダイ」へ参加する。ロシア大統領府広報部が明らかにした。プーチン大統領はクラブの総括総会で演説を行う。

討論では世界の政治地図の急進主義的变化の結果をいかに緩和するか、民主主義のプロセスの危機をどう乗り越えるか、ロシアと EU の関係はこの先どうなるか、グローバル世界は 10 年後、どういった構造になるか等の問いが取り上げられ、それに対する回答が模索される。

27 日の討論にはラヴロフ外相も参加する。国際ヴァルダイ会議は 2004 年に創設。2015 年、これに参加した国際科学組織は 62 カ国から 900 を超える。毎年会議ではロシア大統領をはじめとする国の最高責任者らとの直接的な対話が行われる。

<http://sptnkne.ws/c7AW>

露外務省、アレッポのテロリストは米国から携帯式防空ミサイルシステムを受領

(スプートニク 2016 年 10 月 27 日 22:44)

© Sputnik/ Mikhail Alaeddin <https://goo.gl/dlQKqH>

ロシア外務省のマリヤ・ザハロヴァ公式報道官は、シリアのアレッポで戦う武装戦闘員に米国製の携帯式防空ミサイルシステムが譲渡された事実について、ロシア側は熟知しているとの声明を表

した。

「武装戦闘員らに米国製の対戦車ミサイルおよび携帯式防空ミサイルシステムが引き渡されたケースが目撃された。」ザハロヴァ報道官はこう語っている。報道官はさらに、米国指導の有志連合がシリア情勢をますます不安定化させていると指摘した。

先に伝えられたところ、オバマ政権はシリア反政府勢力に、「穏健反政府派」がロシア空軍と砲兵から身を守る助けになるであろう重火器を供給することを検討していた。

<http://sptnkne.ws/c7Tb>

プーチン大統領は米国について、多幸感につつまれた米国は他国と同権の対話を行うことを拒否した、と述べた

(スプートニク 2016 年 10 月 28 日 00:53)

© Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <https://goo.gl/QUZPaI>

「自分を冷戦勝利者と見なした一部の国が自分の利益のために政治・経済秩序を作り変え始めた」。ヴァルダイ会議のパネルディスカッションでの発言。

「彼らは明らかな多幸感の中で多国との内容ある対等な対話を拒否してしまった。普遍的な機構を作り、完成させるのではなく、自らの体制、基準、規則を全世界に拡散させるよう努めた。全員のためではなく自分のためのグローバリゼーションと安全保障を追求した。それに反対する者もあったということだ」とプーチン大統領。

<http://sptnkne.ws/c7CC>

プーチン大統領、「ロシアは誰かに攻撃を仕掛けるつもりなどない。これはおかしい、馬鹿馬鹿しい、考えられない話だ」

(スプートニク 2016 年 10 月 28 日 07:34)

© Sputnik/ Valeriy Melnikov <https://goo.gl/F8J5Lt>

ロシアは誰かに攻撃を仕掛けるつもりなどない。これはおかしい、馬鹿馬鹿しい、考えられない話だ。ヴァルダイ会議のパネルディスカッションでの発言。

「ロシアは誰かに攻撃を仕掛けるつもりなどない。これはおかしい話だ。あなたがたの分析記事を読んだ。ここにいる人たちはばかりでなく、米国や欧州のアナリストらも。しかしこれは馬鹿馬鹿しい、考えられない、非現実的な話だ。欧州だけで3億人、NATOメンバーに米国を加えると6億

人だ。ロシアは1億4,600万。おかしくて話にもならない」とプーチン大統領。

<http://sptnkne.ws/c7Te>

ロシアが米国の選挙に介入しているなどという話はヒステリー症だとプーチン大統領

(スプートニク 2016年10月28日 00:53)

© Sputnik/ Mikhail Klimentiev <https://goo.gl/Lvpybm>

プーチン大統領はロシアが米国の選挙に介入しているなどという話はヒステリー症だと述べた。「ロシアが米国の選挙に介入しているなどという話は神話であり、でっちあげの問題だ。そうとしか考えられぬ」。ヴァルダイ会議のパネルディスカッションでの発言。

米国は莫大な国債から警察の不行き届きまで課題が山積している。「しかしどうもエリートには特に言うことがなく、社会を安心させるすべがないようだ。はるかに簡単なのは、ロシアをハッカーやスパイ、影響力をかけるエージェントだなどと言って注意をそらせることだ。ロシアが米国の選挙に干渉できるなどと本当に誰か考えているのか？ 米国がバナナの国だとでも言うのか？ 米国は偉大な大国だ」とプーチン大統領。

<http://sptnkne.ws/c7HQ>

ラヴロフ外相、露米関係について専門家らに語る

(スプートニク 2016年10月28日 08:02)

© Sputnik/ Evgeny Biyatov <https://goo.gl/o52jj0>

ラヴロフ外相はヴァルダイ会議の中の専門家向けの非公開ディスカッションに参加した中で露米関係について、NATOの東方拡大が分割されない統一した世界の構築の将来性をいかに困難なものにさせたかについて語った。ディスカッションに参加したひとり、グローバル国益センターのニコライ・ズロビン所長が記者団に明かした

「露米関係では様々な様相についてかなり突っ込んだ話が行なわれた。しかも露米の直接的関係にも第3国、世界の様々な地域についての話だった。ロシアは米国との協力に関心があるが、これを行なうのは難しい。なぜなら米国がいたところでロシアと協力を行いたいという姿勢を表しているとは到底言い難い状況だからだ。」ズロビン氏はこう語った。

ラヴロフ外相は「対米関係を損ねたのはロシアの側からではない」というテーゼを繰り返し、「我々は常にポジティブな立場に戻る用意があるが、これを行なうのは難しい。なぜなら米国は相手を騙すか、それともなんらかの第2、第3の目的を追っているからだ。この目的については米国は語ろ

うとはしないし、しょっちゅう立場を変えてくる」と語っている。

これより前、ブルームバーグは米国には制裁を用いてロシアに圧力を加える手段はほとんど残されていないという記事を表している。

<http://sptnkne.ws/c7Tj>

ロシア国防省、シリアのイドリブ学校空爆のビデオはモンタージュ映像

(スプートニク 2016 年 10 月 28 日 17:07)

© AFP 2016/ Omar Haj Kadour <https://goo.gl/5Y3rVE>

ロシア航空宇宙軍の制御手段が、米国の偵察爆撃用無人機がシリアのイドリブ県の、ユニセフが学校への空爆を確認した場所を飛行する様子をキャッチした。リア-ノーヴォスチ通信がロシア国防省内の消息筋からの情報として報じた。

ロシア国防省のイーゴリ・コナシェンコフ公式報道官は「10 月 26 日水曜、この地域ではロシア航空宇宙軍の航空機は 1 機も確認されていない。これは絶対的な事実だ」と発表している。

西側の一連のマスコミで発表された、学校への空爆の様子を写したとされるビデオ映像について、公式報道官は、解析も撮影時刻も異なるビデオを 10 本以上組み合わせて捏造されたものであることを明らかにした。また報道官は今日、28 日、ロシアの無人機がこの地区の航空写真を撮影したことを明らかにしている。

「ロシアの無人機から撮影された学校の写真を見ると、学校の屋根は一切損壊されておらず、学校に隣接する地区にも空爆の爆発による漏斗状の穴もない。これら全てが物語っているのは、ユニセフ指導部が『ホワイトヘルメット（シリアの市民救助隊）』内のペテン師の発する一連のいかさまの犠牲となったということだ。」

コナシェンコフ公式報道官はユニセフの役人に対し、大々的な声明を発表する前に権威ある組織の評判を落とさぬよう自分の情報ソースを確認するよう進言した。また公式報道官は、米軍の無人機が学校空爆現場を飛行した事が確認された以上、米軍部側にも同様の情報を確認するよう提案した。

これより前、10 月 27 日、ユニセフはシリアのイドリブ市の学校空爆の結果、児童 22 人、教師 6 人の合わせて 28 人が死亡したと発表している。

<http://sptnkne.ws/c7Xe>

中国の諜報活動、ペンタゴンの機密をまんまと獲得

(スプートニク 2016 年 10 月 28 日 19:58)

© AFP 2016/ <https://goo.gl/1L3wEM>

中国のスパイが数回にわたって米国の国家安全保障のストラクチャーに侵入し、中国との紛争がおきた場合に備えての米国防総省の機密プランにアクセスしていた。米保守系政治ジャーナルウェブ「Washington Free Beacon」が議会の委員会のレポートを引用して報じた。

米国防総省の代表らは最大の機密に数えられるこうした情報の漏洩には米国太平洋軍の契約元社員だった退役中佐のベンジャミン・パース・ビショップ氏が絡んでいたことを明らかにした。ビショップ氏は交際相手の中国人女性に機密情報を渡したことを認めている。

中国側に渡された情報には米国の軍事計画、核兵器の展開情報、軍用無人航空機 MQ-9 リーパーに関する文書、対中関係の戦略に関する機密レポートが含まれている。

調べによって米太平洋軍のほかの高官らも中国人軍人にリクルートされていた事実が明るみになっており、米連邦捜査局（FBI）の技術担当社員のクン・シャン・「ジョ」チュンは中国側に盗聴分野のテクノロジービューローの情報を渡していた事実を認めている。

中国側に盗まれたデータには 560 万本分の指紋が含まれていた。この一部は米国政府のエージェントのふりをして働く職員の ID カードやまたは機密情報にアクセスする際の生体認証マテリアルのコピーに使用しうるもの。

<http://sptnkne.ws/c8wQ>

日韓で北朝鮮諜報データーを交換へ、韓国国防省

(スプートニク 2016 年 10 月 28 日 20:32)

© AFP 2016/Jung Yeon-Je <https://goo.gl/Hgzpp8>

今年に日韓間で再開された軍事情報の共同使用と保護に関する合意は軍事作戦の実施についての協力およびMDには関係しない。韓国のハン・ミングー国防相は 28 日、議会の国防問題委員会の会議で演説した中でこうした声明を表した。

今年 4 月、日韓両国は安全保障に関する諜報活動のデーター情報の交換に関する特別合意を締結する構えを表していた。両国が国防情報の交換システムの必要性を宣言した背景には朝鮮人民共和国をめぐる情勢の緊張化がある。

両国の声明には、日韓の密な情報交換は北朝鮮の核ミサイルプログラム関連の問題に迅速に対処

するために欠かせないと明記されている。現在、こうした情報交換は直接的な形ではなく米国の仲介を通して行なわれているため、組織上の効果はどうしても低まってしまう。

<http://sptnkne.ws/c8fY>

プーチン大統領、日本との平和条約締結の正確な期限を名指ししないよう呼びかけ

(スプートニク 2016 年 10 月 28 日 21:38)

© Sputnik/ Sergey Guneyev <https://goo.gl/CKGKGp>

プーチン大統領は日本との平和条約締結の正確な期限を決めることは有害だと考えている。「こうしたケースでは期限を決めるのは不可能だし、有害でさえある」。ヴァルダイ会議のパネルディスカッションでの発言。

例として大統領は中国との領土交渉が 40 年続いたことを挙げた。かつてない水準の協力と多大な信頼があつてはじめて交渉は妥結した、と大統領。「我々はそれを望み、それを目指している。いつ、どのように達成されるか、そもそも達成されるのか、今言うことはできない」とプーチン大統領。

<http://sptnkne.ws/c8f4>

ドイツでクー・クラックス・クランの地下組織 4 つ発見

(スプートニク 2016 年 10 月 29 日 00:12)

© AFP 2016/ Greg Wood <https://goo.gl/YGu4o0>

ドイツ政府によれば、ナチ団体ドイツでクー・クラックス・クランの地下組織が 4 つ活動している。少なくともうちの 1 つに秘密裏にドイツ警察の職員が入っている。ローカルが伝えた。うちの 1 つは欧州白騎士シュヴァーベングループという名前で、これに警官が入っているという。

クー・クラックス・クランは 1920 年代にドイツに入り、支部は第二次世界大戦後ドイツに定着した。1992 年にはメンバーが「クー・クラックス・クラン」と叫びながら黒人を襲った事件が起きた。

先に伝えられたところによると、民族主義団体クー・クラックス・クランの元指導者デビッド・デューク氏がルイジアナ州から米上院議員に立候補する意向を発表した。

<http://sptnkne.ws/c8my>

米参謀本部 モスル近郊の学校を攻撃

(スプートニク 2016 年 10 月 29 日 01:43)

© REUTERS/ Air Jalal <https://goo.gl/EYr0YT>

24 日、米空軍機が、イラク北部モスル近郊のテル・カイフの学校を空爆した。ロシア軍参謀本部・作戦総司令部長のルツコイ陸軍中將が伝えた。リア・ノーヴォスチ通信は、ルツコイ中將の次の言葉を引用した。「10 月 24 日 3 時 35 分、米空軍戦術航空機が、モスル北方 14 キロの町テル・カイフの学校の建物にミサイル攻撃を加えた。その結果、死傷者が出た。ロシア政府は、この地区で連合軍の側からの集中攻撃が増えていることに注目している」と強調した。先にユニセフは、シリアで学校が空爆され児童 22 人が死亡したと伝えた。

<http://sptnkne.ws/c8sy>

プーチン大統領 アレッポの戦闘員らに対する空爆再開を拒否

(スプートニク 2016 年 10 月 29 日 02:14)

© REUTERS/ Abdalrhman Ismail <https://goo.gl/EdtVqZ>

ロシアのペスコフ大統領報道官は「プーチン大統領は、シリアの北部アレッポの戦闘員らに対する空爆再開は、目的に適ったものではないと考えている」と述べた。リア・ノーヴォスチ通信によれば、ペスコフ報道官は次のように伝えた—

「皆さんは、テロリストの活動に関連して、シリアのアレッポへの空爆を再開する必要があるとのロシア軍参謀本部の声明についてはご存じだ。しかしプーチン大統領は、現時点では、空爆再開は妥当ではないと見ている。」

なお、ペスコフ報道官は「プーチン大統領は、参謀本部の見解、現地からの情報などをもとに、決定を下すだろう」と強調した。

<http://sptnkne.ws/c8wY>

ロシア 国連人権理事会選挙で必要な票数を得られず

(スプートニク 2016 年 10 月 29 日 02:57)

◎ 写真: UN Photo / Jean-Marc Ferré <https://goo.gl/vi7dv2>

ロシアは、国連人権理事会で再選されるために必要な票を国連総会で得られなかった。投票は、28 日の国連総会で行われた。ロシアは、東ヨーロッパにおける国連人権理事会の代表ポストを得よ

うと立候補し 112 票を得た。しかし、東ヨーロッパ・グループに割り当てられた 2 つのポストは、114 票を獲得したクロアチアと 144 票を得たハンガリーが占めることになった。

28 日の国連総会では、2017 年から 2019 年期の人権理事会の新しいメンバー国 14 カ国が選出された。その任期は、である。

<http://sptnkne.ws/c8sv>

アンサルーラ：我々はメッカにミサイルを発射などしていない。サウジアラビアは我々に敵対するようイスラム世界をけしかけている

(スプートニク 2016 年 10 月 29 日 07:17)

© REUTERS/ Khaled Abdullah <https://goo.gl/VbbWZv>

アンサルーラの指導者の一人アリ・アル・オムラニ氏は、イエメンからイスラム教徒にとり聖なるメッカに向かって飛翔していたという弾道ミサイルを撃墜したことについてサウジアラビアは嘘をついている、と述べた。

同氏がスプートニクに述べたところによると、サウジアラビアは、イエメン人が聖なる都を破壊しようとしているなどと嘘をつき、脅かして、アンサルーラに敵対するようイスラム世界をけしかけている。

「この情報工作は、予め用意され、慎重に計画されたものだ。数日前、バーレーン王国は、我々のありうべきメッカ攻撃を非難し、もし攻撃すればすべてのイスラム教徒の心情を侮辱することになる、などというお話を捏造した」と同氏。

<http://sptnkne.ws/c8xf>

プーチン大統領「米国は、まずユーゴで、その後はイラクとシリアで国連憲章に違反した」

(スプートニク 2016 年 10 月 29 日 08:01)

© Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <https://goo.gl/VxpvVW>

国際討論クラブ「ヴァルダイ」の総会でプーチン大統領は「米国は、国連憲章に反し、世界で武力を何度も用いてきた」と述べた。プーチン大統領は「国連が、世界において一定のパワーバランスがあった第 2 次世界大戦後に創設された」ことに注を促し「しかしその後、ソ連邦が崩壊すると米国は、もはや基本的な諸問題は誰とも打ち合わせる必要はないのだと決め、1999 年にはベオグラードを空爆した」と指摘した。

プーチン大統領は、さらに次のように続けた—

「さらには、イラクでの出来事があった。その前には 2001 年のアフガニスタンがあった。我々は、確かに 2001 年 9 月 11 日の悲劇的出来事を知っている。しかしそれでもやはり、現行の国際法に従い、国連安保理事会にはかつて、まずそこでしかるべき決議を下す必要があった。」

このように述べたプーチン大統領は、国連憲章に反してリビア決議が採択されたことに注意を促し、次のように力説した—

「この決議を、そこに何が書かれていたかを皆さんはお読みになったか？ 飛行禁止区域だ。しかし、領土中でミサイル攻撃が始まった時に、飛行禁止ゾーンなど一体なんなのだ。単なる乱暴極まりない歪曲だ。国連憲章にまたも違反したのだ。そして今度はシリアである。」

<http://sptnkne.ws/c8xg>

ザハロワ報道官 シリアの学校空爆についてロシアを非難した仏外相に謝罪を求める

(スプートニク 2016 年 10 月 29 日 15:31)

© Sputnik/ Vladimir Astapkovich <https://goo.gl/Q1bcvm>

ロシア外務省のマリヤ・ザハロワ報道官は、自身の Facebook の中で、フランスのジャンマルク・エロー外相について「シリアの学校空爆に関し、ロシアが関与したとの発言を謝罪すべきだ」と述べた。ザハロワ報道官は、次のように書き込んだ—

「昨日、エロー外相は、シリアの町イドリブの学校に対する空爆に、ロシア政府、あるいはシリア政府に責任があると述べた…こうした場合、まともな人であれば謝罪するものだ。私達はそう考えている。」

その際ザハロワ報道官は「ハアス村で撮影された写真を専門家らが分析した結果、学校はいかなる砲撃も受けていない、犠牲者もいなかったという事実が判明した」と指摘した。さらにザハロワ報道官は「写真は、コンピューターグラフィックであり、学校の生徒が死亡したというのは、活動家達による恐ろしいファンタジーである」と付け加えた。

先にフランスのエロー外相は「シリア・イドリブの学校に対する空爆は、シリアあるいはロシアが行ったものだ」と非難した。なおユニセフの発表によれば、この空爆により児童 22 人、教師 6 人が死亡した。

<http://sptnkne.ws/c8zv>

北朝鮮 日米を先制攻撃すると脅迫

(スプートニク 2016 年 10 月 29 日 17:37)

© Sputnik/ Ilya Pitalev <https://goo.gl/1x2LPq>

朝鮮中央通信によれば、朝鮮民主主義人民共和国は「少しでも挑発的行為があれば」米国及び日本を含めたその同盟国に対し、先制攻撃をする能力を持っている。

報道によれば「日本は朝鮮人民の不倶戴天の敵」であり続けている、とのことだ。報道の中では、次のように述べられている—

「人民共和国の攻撃核兵器は、敵の側から少しでも挑発がなされれば、人民共和国の主権と存在権を守るため先制攻撃する用意ができています。」

また朝鮮中央通信の報道の中では、日本の岸田外相が「共和国のミサイル及び核実験に関連し、ピョンヤン当局に対する圧力強化に賛成している」として批判されている。

<http://sptnkne.ws/c83h>

ロシア対剣をもったフクロウ：ウクライナの諜報部隊、第三帝国のスローガンの下で活動（写真）

(スプートニク 2016 年 10 月 29 日 19:56)

◎ 写真: president.gov.ua <https://goo.gl/A1sD9R>

ウクライナ国防省軍事情報局は新しいエンブレムを承認した。フクロウが剣の先をロシアに向けているものだ。我が国の領土は別の色を割り当てられており、異なる解釈はほとんど不可能だ。エンブレムの背景はウクライナの国旗の色で、上には「ウクライナはすべてのものの頂点」と書かれている。

twitter.com/ <https://goo.gl/itcj3K>

ソーシャルネットワークのユーザーによれば、国名こそ違え、このフレーズは第二次世界大戦の前夜に書かれた、有名な「ドイツ人の歌」からとられている。時間が経つにつれて、これらの言葉は、第三帝国のナチスのイデオロギーのシンボルとなっており、今後はこのモットーの下でウクライナの諜報機関は活動することになる。エンブレムにはまた、「ウクライナ軍事諜報」との添え書き及びラテン語の標語「Sapiens dominabitur astris」（賢き者は星を支配する）も書かれている。

<http://sptnkne.ws/c84F>

デイリー・スター：シリア上空に「プーチンの極秘ヘリ」が確認された

(スプートニク 2016 年 10 月 29 日 20:00)

© Sputnik/ Dmitriy Vinogradov <https://goo.gl/keTTXE>

プーチン大統領はシリアでの戦争に勝つための試みとして新型高精度軍用ヘリコプターの艦隊を創設することを決めた。英タブロイド紙デイリー・スターが報じた。「超現代的超兵器」のコードネームは Ka-35 で、既にシリア上空で確認されているという。

動画 <https://youtu.be/J-QYnZvbc0o>

同ヘリは電子地上目標諜報複合体を備え、脅威の可能性について事前に警告できる利点をもつ。この「極秘スパイ機器」はさらに電子システムを抑制し通信回線を破壊することができ、おそらくシリアにおける最近のインターネット寸断はこれによるものとされる。

ロシア連邦の軍産複合体は、ヘリコプター K-31 を改造した Ka-35 は必要なすべてのテストに合格したとしている。しかし、「プーチンの恐ろしい秘密スパイ兵器」の動画は今回初めて公開されたと同紙。

動画公開と時期を合してロシアが NATO を圧倒するのに十分な力を持っているという一部専門家の警告が発せられている。長引くシリア危機の悪化を背景に、モスクワは自国戦術爆撃機を戦闘状態に置いた、とデイリー・スター。

<http://sptnkne.ws/c8HH>

シリア政府、反政府派との交渉再開に用意あり

(スプートニク 2016 年 10 月 29 日 21:11)

© REUTERS/ Alaa Al-Faqir <https://goo.gl/K6EyWH>

シリア政府には従来通り反政府派と交渉を再開する用意がある。シリアのアサド大統領の補佐官 ブセイン・シャアバン氏が述べた。

「シリア反体制派にも用意があるなら我々は交渉再開への用意がすっかり整っている。いま我々はシリアにおける国民和平という非常に大事な方向性へ動いている」。Vesti.ru のインタビューでの発言。

シリア政府は国民内部の和平などですでに非常に重要な進展を遂げているという。

「シリアでそれが可能な場所で和平を達成するべく努めている。我々は国連や反政府派が用意が出

来次第政治プロセスを進めることに前向きだ」とシャアバン氏。

<http://sptnkne.ws/c85V>

外務省：ロシアは米国やシリアを含めすべてのパートナーと協力する用意がある

(スプートニク 2016 年 10 月 29 日 21:11)

© AFP 2016/ Joel Saget <https://goo.gl/leu7Gv>

ロシアはシリア危機の全面的解決に向け米国を含むパートナーとの協力を前向きであり、そのような協力は双務的義務と責任ある態度に基づいてのみ行うことができる。土曜、ロシア外務省のウェブサイトで公開された、国連およびジュネーブの国際機関のロシア大使によるコメントより。「ロシアはシリア危機の解決のすべての側面で米国を含むパートナーとの協力を継続する準備ができています。しかし、このような協力は、平等と、義務に対する責任ある態度という原則に基づいてのみ行われうる」とされている。

<http://sptnkne.ws/c85Y>

国防省：米軍、露米航空機接近事故について謝罪

(スプートニク 2016 年 10 月 29 日 23:59)

© Sputnik/ Skryinikov <https://goo.gl/AtwqOu>

米軍は露米の航空機がシリア上空で接近した事故について謝罪した。国防省のプレスリリースを R T が伝えた。同省のイーゴリ・コナシェンコフ報道官によれば米国の AWACS は 17 日は規則を破りシリア上空でロシアの Su-35 に 500m という危険な距離に接近した。米空軍司令部は「事件について謝罪し、今後の再発防止のために、パイロットとしかるべき作業を実施することを約束した」という。

<http://sptnkne.ws/c8HX>

アサド大統領補佐官：ロシアおよびシリア軍はイドリブの学校を攻撃してはいない

(スプートニク 2016 年 10 月 30 日 07:03)

© AFP 2016/ Omar Haj Kadour <https://goo.gl/phRcw8>

シリアのアサド大統領の補佐官ブセイ・シャアバン氏によれば、ロシアおよびシリア軍はイドリブの学校を攻撃してはいない。リア・ノーヴォスチが伝えた。犯人究明のため徹底的な調査を実施

する必要がある、と同氏。「ロシアは国連に対し調査の実施と事態の真相解明の必要性を訴えたが米国はいまだに何らの調査も行っていない。彼らは誰が人道支援車列を燃やし、誰が学校を攻撃したか知っているからだ。それはどうしてもロシア人やシリア人ではない」と同氏。

<http://sptnkne.ws/c8HV>

ロシアとシリアの航空部隊、アレッポ周辺を飛行しなくなって 13 日目

(スプートニク 2016 年 10 月 30 日 17:27)

© Sputnik/ Michael Alaeddin <https://goo.gl/315T72>

ロシア航空宇宙軍とシリア空軍は、すでに 13 日間アレッポ上空を飛行していない。30 日、ロシアのイーゴリ・コナシェンコフ国防省報道官が述べた。「比較のために、米国主導の国際的な連合軍は昨日、イラクの 100 万都市モスルにある住居に 9 発の空爆を行った」と述べたコナシェンコフ国防省報道官は、空爆の 9 発のうち 2 発は「米国の戦略爆撃機 B-52H が行った」と指摘した。ロシアとシリアの航空部隊は 10 月 18 日、アレッポへの空爆を停止した。25 日には、アレッポ地域での人道停戦延長の決定が取られた。28 日、ロシア軍はプーチン大統領に、アレッポ東部での戦闘員への攻撃再開を許可するよう求めたが、プーチン大統領は攻撃再開を拒否した。

<http://sptnkne.ws/c8Q6>

過激派はアレッポでの攻撃に化学兵器を使用している一蜂起勢力

(スプートニク 2016 年 10 月 30 日 19:28)

© Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <https://goo.gl/tTrXGk>

テロリストらは、アレッポ南西部のシリア軍と蜂起勢力を毒ガスで射撃している。リアーノーヴォスチが蜂起勢力の情報を伝えた。「過激派はアサドアカデミー地区の我々と軍人らを毒ガス入り手製ミサイルで攻撃している。どのような化学物質が使われているかは断定しがたい」とのこと。

<http://sptnkne.ws/c8QK>

戦闘員による科学兵器使用時に民間人に被害、アレッポ

(スプートニク 2016 年 10 月 31 日 05:25)

© Sputnik/ Michael Alaeddin <https://goo.gl/WAuZ7A>

アレッポ南西部での戦闘員による化学兵器仕様の結果、1 人が死亡し、更に 30 人が負傷した。A1

Mayadeen テレビが報じた。

テレビ局特派員によると、この攻撃による被害者の大多数は民間人。彼らは全員、近くの病院に搬送された。テロリストはアサドアカデミー地区の拠点を毒ガス入り兵器で射撃している。この地域はシリア軍と民兵が管理している。

先にシリアアレッポの民兵が発表したところ、テロリストがアレッポ南西部を毒ガス入り兵器で射撃した。

<http://sptnkne.ws/c9eH>

F B I 長官、プーチン大統領に対する仕事について非難される

(スプートニク 2016 年 10 月 31 日 08:35)

© AP Photo/ Evan Vucci <https://goo.gl/LbN9mH>

バーモント州元知事ハワード・ディーン氏が、プーチン氏に味方しているとして F B I 長官ジェームス・コミ氏を非難した。長官がヒラリー・クリントン氏の電子メール問題の再調査を発表したため。

「コミーは自分が正しいと思うことを実行しようとした。彼は事業を台無しにし、F B I への信頼を永遠に損ねた」。

ディーン氏が Twitter に記した。「皮肉なことにコミーは自分をプーチンと同じ側に置いた。」

オハイオ州選出のやはり民主党下院議員であるティム・ライアン氏は CNN のインタビューでクリントン氏の一件にモスクワが関与していないかどうか疑問を呈した。「彼らがどうやって F B I のもとへ来たのか。ロシアは関与しているのか。これらすべてがどこから来たのか我々は何等把握していない」と同議員。

<http://sptnkne.ws/c9eK>

エルドアン大統領、死刑再施行をトルコ議会に要求

(スプートニク 2016 年 10 月 31 日 09:39)

© Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/wb2gbS>

トルコのエルドアン大統領は、政府は死刑の再施行に関する法案を議会に提出すると述べた。アンカラの高速列車駅のオープン式典での発言。インディペンデントが伝えた。「議会がそれを承認

すると確信している。私に署名が回ってくれば批准する」と大統領。群衆は応答して叫んだ。「死刑を与えよ！」大統領は応じた。「もうすぐだ、心配しないでほしい。それがアッラーの望みならすぐに実現する」。エルドアン大統領は8月7日、数千人が参加したイスタンブールの集会で、議会が承認すれば軍事クーデター未遂参加者の死刑に関する法律に調印する用意がある、と述べた。

<http://sptnkne.ws/c9eN>

オランダがEU・ウクライナ連合の運命決める可能性

(スプートニク 2016年10月31日 17:38)

© AFP 2016/ John Thys <https://goo.gl/qnHXNx>

オランダ政府は31日、同国民が4月に反対していたウクライナとEUの連合協定の運命を決める可能性がある。オランダが協定批准を最終的に否定する可能性も除外されない。オランダ内閣は議会の要請により、11月1日までに、ウクライナとEUの連合と、自由貿易圏についての協定に関する自らの立ち位置を示す必要がある。この協定は2014年6月、オランダ含む全EU諸国の全会一致の支持のもとで調印された。一方、4月にはオランダ国民投票で、反対された。ロイターが報じたところ、オランダのルッテ首相は金曜日、内閣がこの協定を支持するという決定を取り消す旨の法案を議会に提出する可能性を除外しなかった。

<http://sptnkne.ws/c9n2>

ポクロンスカヤ氏：ウクライナ人が私に助けを求めている

(スプートニク 2016年10月31日 20:41)

© Sputnik/ Aleksey Nikolskyi <https://goo.gl/uAttyy>

ロシア連邦下院議員ナタリヤ・ポクロンスカヤ氏が、ウクライナ人から助けを求める手紙と訴えが同氏のもとに届いていると語った。ポクロンスカヤ氏が、リアーノーヴォスチのインタビューをうけ、次のように発言した。

「私は議員として、ウクライナ人からメールを受け取っている。確かに、彼らは返事を住所ではなく、彼らのメールアドレスに送るよう求めているが。彼らは、今日、ウクライナで権力の座についている偽の指導部から助けるよう求めている。私には、怠慢な政府の人質となっているウクライナ国民がかわいそうに思える。」

<http://sptnkne.ws/c9pY>

ウクライナ政府の対露制裁拡大が発効

(スプートニク 2016 年 10 月 31 日 20:22)

© AFP 2016/ Vasily Maximov <https://goo.gl/NbvXxQ>

ウクライナ政府による対露制裁拡大が 31 日、発効した。この情報は、ウクライナ議会のサイトに含まれている。「rbc-ukraine」が報じた。

ウクライナによる制裁は、10 月 17 日付けのポロシェンコ大統領による大統領令に則って導入された。大統領令は、10 月 21 日に公開され、公示から 10 日後に発行すると同紙は指摘する。

制裁のリストには、「ロソボロネクスポート」、「カマーズ」、「UTエアー」、「ズベルバンク・リース」、「ロステフ」など、167 企業が入っている。さらに、ドミートリイ・ロゴジン露副首相、ロシア自由民主党のウラジーミル・ジリノフスキー党首、クリミアの首長セルゲイ・アクショーノフ氏、チェチェンの首長ラムザン・カディオロフ氏を含む、335 人の個人に制限措置が適用されている。

<http://sptnkne.ws/c9sN>

ラヴロフ外相：シリアにおけるロシアの行動に対する西側のリアクションは「ヒステリー」

(スプートニク 2016 年 10 月 31 日 21:48)

© REUTERS/ Jacky Naegelen <https://goo.gl/VDTdp0>

ラヴロフ外相はシリアにおけるロシアの行動に対する英米のリアクションは「ヒステリー」であるとした。ロシア第 1 チャンネルの番組「私は堅く決意した。エヴゲーニイ・プリマコフ」の中で述べた。インターファクスが伝えた。

「シリアをめぐる事象を背景に野蛮だの軍事犯罪だのを口にする英米をはじめとする西側パートナーらのヒステリーは公然たる侮辱の域に達している」と外相。

ラヴロフ外相は 1999 年の N A T O のユーゴスラヴィアにおける軍事行動は「侵略」であるとした。「1945 年以来最初の欧州における主権国家軍事攻撃だった」。

今月初頭、米国のケリー国務長官はシリアにおけるロシアの行動を軍事犯罪として捜査するよう呼びかけた。

<http://sptnkne.ws/c9v7>

専門家の見解、自衛隊を軍隊へと変貌させる危険性はあまりにも誇張

(スプートニク 2016 年 10 月 31 日 22:10)

© AFP 2016/ Peter Parks <https://goo.gl/r6D4x1>

「2016 年 10 月末、戦没者を弔う靖国神社の閣僚参拝に関連したスキャンダルが再燃した。とはいえこれはもうスキャンダルを呼ぶよりは、中国、韓国が従来通り示す過激な反応というほうが正しいだろう。

日本の閣僚の靖国神社参拝はもちろん戦争の記憶に留まらず、日本の軍事力の拡大も絡んで多くの点で問題となっている。中国は明らかに日本が軍事面で徐々に力を増していることを危険視している。自衛隊が段階的に軍隊へと変貌していると捉えるならば、私の見解ではこのプロセスによる危険性はかなり誇張されていると思う。

第 1 に実際の自衛隊は、殊更に軍事的な意味で戦闘行為を開始した敵を破壊する目的で反撃を加える可能性を含まねばならないという状況は、考慮しないわけにいかないからだ。この観点からすると軍隊およびその海上、航空の軍備を拡大することは目的にかなった行為である（日本は自国の領域だけでなく、それに付随する水域をも守らねばならない）。

第 2 に、戦後 70 年、日本の置かれた状況は変わった。日本は軍事的に強国に取り囲まれてしまっているのだ。ロシア、中国、韓国、北朝鮮は強力な軍隊を有している。太平洋地域の他の諸国もこれら強国の援護に駆けつける可能性がある。この状況は、仮に日本が賭けに出て侵略戦争を始めようなどと考えたところで、核兵器をも含めた強力な報復をくらうリスクなしに隣国に攻撃をしかけるということは元々ありえないのだ。

第 3 に大戦争には原料、石油が必要だが、これは日本にはなく、そのための海上運輸はあまりに損なわれやすいことは前回の戦争でも露呈した。

第 4 に戦後の時代が示したように日本の企業は日本人ジェネラルよりもはるかに多くを勝ち取った。現在、日本の経済、文化の影響の及ぶ範囲は第 2 次世界大戦時の日本人ジェネラルが示した範囲を超えている。日本は繁栄のために必要な全てを平和的方法で獲得することができる。一例ではロシアとの経済協力交渉が成功した場合、日本は莫大な原料、エネルギー資源を手に入れることができるではないか。

こうした論拠から日本が侵略の意図を持つというのは単に馬鹿げた話であるといえる。では話を戦争の記憶と靖国神社に戻そう。まず中国、韓国両政府から出された声明が本質的には日本の内政への干渉であることを指摘する必要がある。日本の代表者らは中国や韓国の政治家にどの寺に参拝しろなどとはいわないではないか。

さらに指摘せねばならないのは日本にとってはあの戦争は大きな不幸せであり、侵略政治や戦争犯罪を非難されるだけでなく、多数の犠牲者を出し、原爆によっても莫大な損失を出したことだ。

私は、日本人は自国政府の侵略に十分に代価を支払ったと思う。

そして最後に靖国神社の札にその名が明記されている日本軍の兵士、将校たちだが、彼らは自分の命と引き換えに命令を遂行した。その彼らに日本政府の政策、特定の人物の犯罪の責任があるとするのは少なくとも道徳に反することだ。例えばソ連は対独戦争で莫大な犠牲を強いられたが、それでも全ての独兵士、将校にナチスの犯罪の責任を負わせようとはしてこなかった。非難の対象となったのは戦争犯罪を犯した特定の個人だけであり、戦争捕虜の圧倒的大多数は戦後数年して本国へと帰されている。また現在でも独兵の遺骨が見つかった場合は本国で埋葬されるためにドイツ側へと引き渡されるのが通常だ。靖国神社に祀られているおよそ 250 万人の英雄のうち、軍事法廷で裁かれ、戦犯とされたのはわずか 14 名。実際のところは中国、韓国の要求は日本軍の中でも戦犯判決に合致しない戦死した兵士、将校らを犯罪者扱いしていることになるため、これはもちろん受け入れ難いことになる。

東京裁判で戦犯とされた人物らの札が神社にある問題については私はこれらの人物らの供養を禁ずることが判決に源を発するものになるかどうかは法律の観点から見直し、見極めることができると思う。これが判決に源を発するとなれば、これら戦犯の札を靖国神社からはずすという裁判の決定をとらねばならない。私の知る範囲では戦争法廷で裁かれた者らについての墓碑ないし奉納札は法廷規約でも国際刑事裁判所の他の文書でも禁じられてはいない。少なくともこの問題は日本の法律の範囲で解決すべきものだ。」

ドミトリー・ヴェルホトウロフ

※なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部の方針とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/c9Ca>

プーチン大統領、米国とのプルトニウム合意停止関連法を発効させる

(スプートニク 2016 年 11 月 01 日 00:59)

© Sputnik/ Sergey Guneev <https://goo.gl/rtk3cf>

プーチン大統領は米国とのプルトニウム合意停止関連法に調印した。米国がロシアに対する非友好的な政策を停止すれば協力は再開されるとロシア政権。

この法律によりロシア政府は米国のロシアに対する「非友好的行動の結果戦略的安定性が脅かされ状況が根本的に変化した」ことにつき、また米国政府が確定されたプロトコルにのっとり「余剰武器用プルトニウムの処理に関する義務の履行を保証」できないことにつき、合意を凍結する。

NATO 諸国における米国の軍事インフラや人員が削減されたならロシア側は合意の効力を再開させる。ロシアは米国がロシアに対して発動したあらゆる政治経済制限を解除し、制裁の結果引き

起こされた損害を全面賠償した後で合意を見直す用意がある。

<http://sptnkne.ws/c9CC>

日本はロシアとの領土問題への関心をツーリズムで引きつけようとしている－メディア

(スプートニク 2016 年 11 月 01 日 07:10)

© Sputnik/ Ekaterina Chesnokova <https://goo.gl/enhgpf>

日本政府はロシアの南クリル諸島に近い北海道東部への観光促進のための作業グループを創設する。ロシアとの領土問題への関心をツーリズムで引きつけるためだ。共同通信によれば、関係省庁と北海道当局の参加する最初の協議が 11 月 2 日開かれる。

「ロシアとの交渉を前進させるためには、政府と市民が一体的に行動する必要がある」と今日、高橋はるみ北海道知事との会談で安倍首相が述べた。会談で上述の作業グループについて討議がなされた。来年 2 月には北海道東部ツーリズム促進の詳細な計画が準備される。また観光客誘致のために国内各地からの格安航空便が組織される予定。

<http://sptnkne.ws/c9CJ>

世論調査：米国人は何を怖がるのか？

(スプートニク 2016 年 11 月 01 日 09:45)

© AFP 2016/ Andrew Biraj <https://goo.gl/4svPf3>

米国人は何よりも汚職とテロ攻撃を危惧しており、最も危惧していないのは幽霊、ピエロ、陰口、ゴシップだ。このような結論に至ったのは、米チャップマン大学の研究者で、調査「米国人の最も強い恐怖 2016」の結果は今日公開された。

米国人の間で最も普及している恐怖は、政府職員の汚職に対するものであり、60.6%の回答者が恐怖を味わっている。41%は何よりの恐怖にテロ攻撃を挙げ、39.9%は将来、生きるために十分な資金が無いことに陥る可能性への不安、38.5%は武器貿易に関する政府の規制、38.1%は近親者の死、37.5%は経済、金融破綻を恐れていた。

回答者の 3 分の 1 が個人情報への政府の監視と、高額医療を恐れており、32.3%は、米国が新たな世界大戦に加わることを危惧している。

<http://sptnkne.ws/c9CP>

頻発するイタリア地震、カタストロフィーの予知は可能か？

(スプートニク 2016 年 11 月 01 日 11:11 タチヤナ・フロニ)

© Sputnik/ Dmitri Korobeinikov <https://goo.gl/8ljvIx>

イタリア中央部で新たな地震が発生した。この揺れは首都ローマ、フィレンツェにまで達している。震源地はイタリア中部でもアドリア海側に位置するマルケ州のノルチャ市の付近で震源の深さはおよそ 10 キロ。イタリア中部の活発化した地震活動は衰える様子がなく、この後も最高マグニチュード 7.1 の揺れが続いている。

これはここ 3 ヶ月で観測されたうちすでに 3 番目に大きな地震となっている。イタリア中部では 8 月に同規模のマグニチュード 7 の地震が発生したばかり。これによって 300 人あまりの犠牲者が出ている。

専門家らは口をそろえてイタリア半島は地震活動の活発な地域であり、火山活動も見られることから、地殻のガスが活発に抜けるプロセスが進行していると指摘している。イタリア半島の地震活動は 10 年毎とはいわないまでもかなりの確率で起きてもおかしくない。日本はより高い頻度で地震が発生することから全国の様子は数多くの地震観測所によってモニタリングされている。スプートニクはロシアの地球物理学研究所の地震学者、アレクセイ・リュブシン氏にインタビューを行なったところ、リュブシン氏は日本では観測所から入ってくる G S P データーから地震が起きる危険性を読み取る事が出来ると指摘した。

スプートニク：イタリアでは同じような観測所のデーターを分析されましたね。その結果、将来発生する地震の予知は可能でしょうか？

「私は主に日本と米国の G S P データーを分析しています。その理由は両国のネットは非常に密で観測所が非常に多いからです。日本には 1,300 箇所。つまり日本のほぼ領土全体に点在していることになります。米国には 4,500 箇所。ただし米国のほうが面積は広いですから。しかも米国も日本もこの G S P のデーターへのアクセスはオープンで研究者だけでなく希望すればダウンロードが可能です。それにこのデーターは毎日更新されています。イタリアには観測所の数はわずか 20。つまりその G S P データーの分析結果も生産性は低くなるわけです。イタリアにもせめて日本の 4 分の 1 の数の 300 の観測所がないといけません。これくらいあれば、そのデーターも科学的に分析することが可能となるのですが。」

スプートニク：前回の地震の後、イタリア中心部は地震多発地帯であるにもかかわらず、大型地震が起きるような場所ではないと指摘されましたね。最大の揺れもマグニチュード 6 を越えないとされていた。ところが今回、それ以上の揺れが起きてしまった。それでも幸いなことに今回は犠牲者はでませんでした。とはいえ市民はおびえて自宅へ戻るのを怖がっています。新たな地震が再度起こる恐れはありますか？

「確かにイタリアでもこの州は地震活動が活発化しています。このためマグニチュード 6 の揺れが

起きる危険性は事実上あります。ですが繰り返しますが、それ以上の揺れになることはまずないでしょう。地殻の緊張はある程度進行していますが、それは日本で見られるようなリソスフェアどうしの直接的な衝突ではありません。日本の揺れはリソスフェアどうしがぶつかることによるもので、マグニチュード8や9、時には10が起きる危険性があるのです。それにもしマグニチュード10の地震がおきてしまった場合はこれはもう完全にカタストロフィーです。イタリアではこれに似た場所はシチリア島のある南部だけで、そこではアフリカプレートとヨーロッパプレートというリソスフェアどうしの衝突や亀裂が見られます。このことから、この場所ではマグニチュード8の地震も起きる危険性はあるのです。にもかかわらず先ほど指摘したとおりイタリアのG S P地図は完全ではありません。ですから私はイタリアはモニタリングシステムをより改善するためにはどうしたらいいか、知恵を絞るべきだと思っています。」

<http://sptnkne.ws/c9C2>

マスコミ：F B I 長官、ハッキングに関しロシア非難に反対

(スプートニク 2016 年 11 月 01 日 16:15)

© AFP 2016/ Mandel Ngan <https://goo.gl/9k9DXL>

F B I = 連邦捜査局のジェイムス・コミー長官は、米民主党全国委員会へのハッキング攻撃に関してロシアを非難することに反対だった。テレビC N B Cが、F B I に近い情報筋をもとに報じた。

テレビ局に元F B I 職員が述べたところ、コミー長官は非公開の場では、なにやらロシア政府がハッキング攻撃に関与しているとの声明に、F B I の名を挙げることに反対しており、その理由として、あまりに米大統領選挙日と近いことを挙げた。

民主党の報道担当と、米大統領選民主党候補ヒラリー・クリントン氏は、選挙結果に影響を与えようと試みているといい、ロシアが、この攻撃に関与しているとはっきりと述べている。

<http://sptnkne.ws/c9Fz>

ロシア安全保障委員会書記：我々は平等と相互尊重に基づき米国と協力する用意ある

(スプートニク 2016 年 11 月 01 日 17:00)

© Sputnik/ Ilya Timin <https://goo.gl/10IRMn>

ロシア安全保障委員会のニコライ・パトルシェフ書記は現代政治の肝要な問題などについてスプートニクと話し合った。国際舞台や、最も問題のある個別の地域で今日形成された、安全保障分野での情勢をどのように特徴づけることができるのでしょうか？

世界情勢は簡単にはなっていない。世界的な影響力と世界の資源利用を求める競争が強まっている。一連の諸国の過度の野望が、世界各所で全ての新たな挑戦と、安全保障分野での脅威を引き起こしており、それらはすでに、危機的状況の正常化に向けられた2国間、多国間の取り組みを確立するための真剣な障害になった。

我々は依然として、NATOの軍事力拡大、NATOへのグローバル機能の付与、NATO加盟国の軍事インフラのロシア国境への接近、新たな種類の兵器の展開、グローバルMDシステムの構築に対し、自国の安全への脅威として接している。

国際平和と安全保障への前例のない脅威として、国際テロ組織「ダーイシュ（イスラム国、IS）」を含むテロリズムはあり続けている。

ロシアはシリア政府の要請により、2015年秋からシリア領内でのテロリスト殲滅へ活発に関与している。

朝鮮半島で、緊張状態の根源が維持され続けている。北朝鮮指導部行動を米国は自らの関心の元、利用している。北朝鮮の軍事的脅威からの防衛という口実の元、彼らは北東アジアでのプレゼンスを強化しており、韓国や日本との緊密な軍事演習や、地域に自らのグローバルMDシステムを配備しようとするなどといった力の誇示により、情勢をさらに緊迫化させている。

2年前、地域的紛争地帯としてウクライナが加わった。米国政府とEUはキエフでの違憲的なクーデター組織に積極的に貢献した。結果として、同国東部では、ウクライナ政権が自らの義務執行を放棄して、停止することを望んでいない内紛がくすぶっている。

<http://sptnkne.ws/c9Gz>

東シナ海係争水域に中国の掘削船、日本が抗議

(スプートニク 2016年11月01日 18:19)

© AFP 2016/ TOSHIFUMI KITAMURA <https://goo.gl/Lmlalo>

日本政府は中国が東シナ海の係争水域でボーリング作業を行っている事実が確認されたことを受けて、これについて中国に対して抗議を申し入れた。

11月1日、岸田外相は東京での記者会見のなかで係争水域の天然ガスの埋蔵ゾーンで中国の国旗を掲げた掘削船が碇をおろして停船しているのが確認されたことを明らかにした。岸田外相は「中国側が日中間の海洋の境界が確定していない状況で、一方的な開発に向けた行為を継続していることは極めて遺憾だ」と語り、両国間では東シナ海の排他的経済水域の境界線が画定していない事実を指摘している。

現在、東シナ海の日中中間線の中国側海域において、中国は 16 隻の移動式の掘削船を停船させ、天然ガスの探査、採掘を行っている。日本は同海域での中国の活動の活発化に対し、これまで再三にわたって抗議を申し入れてきた。

<http://sptnkne.ws/c9HV>

ロシア上院議長：クリル諸島のロシア主権は疑いない

(スプートニク 2016 年 11 月 01 日 23:04)

© Sputnik/ Vladimir Fedorenko <https://goo.gl/S9DbmF>

ロシアがクリル諸島に対する自国の主権制限に向かうことは絶対になく、日本の管轄へ引き渡すことなどなおさらだ。ロシアのワレンチナ・マトヴィエンコ上院議長が、露上院の日本公式訪問中、記者団に述べた。マトヴィエンコ上院議長は訪問中、記者団に次のように述べた。

「クリル諸島に関して言うと、諸島に対する主権は日本にとっては議論の余地があるが、ロシアにとってはない。諸島は第 2 次世界大戦の結果、我々のもとに來たのであり、それは国際文書に記録されている。それゆえ、クリル諸島に対するロシアの主権は疑いの余地がない。プーチン大統領が指摘したように、我々は領土を売り買いしない。それと同時に、双方が満足行くような平和条約の問題に関する妥協案を探す用意が我々にはある。」

マトヴィエンコ上院議長は記者会見で、今後の露日関係の発展の前提はこの数 10 年間の 2 国間協力関係によって作られていると指摘し、次のように強調した。

「すべては、お互いの方へさらに進んでいくという政治的意志にかかっている。我々の側にはその意志はある。日本は、アジア太平洋地域におけるロシアの重要なパートナーだ。」

一方、伊達忠一参院議長は、マトヴィエンコ上院議長の訪問は両国の 2 国間関係発展に寄与するとの確信を表した。

<http://sptnkne.ws/c9Kt>

露日は平和条約の条文策定の作業を行っている

(スプートニク 2016 年 11 月 01 日 20:54)

© Sputnik/ Ramil Sitdikov <https://goo.gl/7LAAey>

ロシアと日本は平和条約締結に関心があり、両国にとって受け入れ可能な条約案の策定作業が行われている。ロシア上院（連邦会議）のヴァレンチナ・マトヴィエンコ議長が明らかにした。マ

トヴィエンコ上院議長は1日、安倍首相との会談を総括した記者会見で「日本もロシアもこうした平和条約に締結することに関心を抱いている。すでに数度にわたる外務次官級協議が行われており、ロシアにとっても日本にとっても受け入れ可能となるような平和条約案の準備作業が着々と進められている」と語った。

ロシア上院代表団は現在、日本を公式訪問中。

<http://sptnkne.ws/c9KY>

中国、第5世代戦闘機 J-20 を公開（動画）

（スプートニク 2016 年 11 月 01 日 21:37）

© REUTERS/ Stringer <https://goo.gl/Rs7YL4>

中国が自国の開発した第5世代双発ステルス機「殲撃 20 型（J-20）」を公開した。チャイナ・ニュースサービスが報じた。

J-20 の公開飛行は広東省珠海市で開催の航空宇宙サロン「エアーショー・チャイナ 2016」の枠内で実施された。

J-20 を開発したのは航空機メーカー「成都飛機工業（集団）公司」。2011 年初頭にすでにテスト飛行を終了している。

中国は第5世代双発ステルス機としては J-20 のほかにも「殲撃 31 型（J-31）」を開発している。先にロシア空軍輸出課のセルゲイ・コルネフ課長はリアノーボスチ通信に対して、J-31 はロシアの航空エンジン RD-93 を使用することを明らかにしている。J-31 の初テスト飛行は 2012 年 10 月 31 日に実施されている。

先に伝えられたところでは、ロシアは、第6世代戦闘機 2 タイプを開発している。

<http://sptnkne.ws/c9RP>

嵐を呼んだフィリピン大統領訪日：日本人専門家「日中は、天秤にかけられてはいない」

（スプートニク 2016 年 11 月 01 日 22:01 徳山あすか）

© REUTERS/ Issei Kato <https://goo.gl/EvB699>

先週訪日したフィリピンのドゥテルテ大統領は嵐のように去って行った。暴言癖で知られる大統領はフィリピンに戻った途端「帰りの機内で空を眺めていると『汚い言葉をやめないと飛行機を落

とす』という声が聞こえた。誰かと思ったら神だった」と述べ、暴言封印を宣言して周囲を驚かせた。どこまでもユニークな発言が注目を集める異色の大統領である。

フィリピン政治に詳しい近畿大学国際学部の柴田直治（しばた・なおじ）教授によれば、トークの面白さと聴衆へのアピール力が、ダバオ市長だったドゥテルテ氏を国のトップに押し上げる原動力になったという。一方で柴田氏は「ドゥテルテ大統領の暴言と、彼の真意や基本政策は選り分ける必要がある」と指摘する。

柴田氏：「オバマ米大統領に向かって『地獄へ行け』などというのは暴言ですが、『米国との関係を絶つ』『米国との合同軍事演習をやめる』というのは、大統領の信念に基づく政策ですから、区別して考えるべきです。また、彼の発言がよくぶれることは事実なので、個々の発言に過剰に反応することは適切ではありません。いくつかの発言内容を分析すれば大統領の真意が見えてきます。」

ドゥテルテ大統領は短い期間に中国と日本を立て続けに訪問したため、日本メディアの多くは、フィリピンは日中を天秤にかけ、両方から最大限の投資を引き出そうとしているという論調で報じた。しかし柴田氏の見解は異なっている。

柴田氏：「フィリピンと中国の関係は近年良好でしたが、前アキノ政権の中盤から南シナ海問題をめぐり陰悪になりました。今回の訪中は、南シナ海問題を棚上げし、経済的な利益を優先して中国と『復縁』することが狙いでした。アジア諸国の貿易相手のトップはいずれも中国ですが、フィリピンだけは最大の輸出相手国が日本です。両国が南シナ海問題で揉めた2012年以降、中国が事実上の経済制裁を課してきたからです。それを解除させることがドゥテルテ大統領の思惑だったわけです。中国とはあくまで経済的利益を追求した復縁ですが、日本とは違います。フィリピンとしても、ドゥテルテ政権としても、日本とはずっと友好的です。今年始めに天皇陛下もフィリピンを訪問しましたし、ドゥテルテ大統領自身、個人として以前から日本が好きなのです。」

反面、米国嫌いで知られるドゥテルテ大統領。「中国とロシアと組み、世界と戦う」「フィリピンを中国人とロシア人に開く」など、中露にシンパシーがあると見られる発言を繰り返している。中国との付き合いは経済的利益が目的だと見られるが、ロシアとフィリピンとは果たしてどんな関係があるのか。

柴田氏：「これは米国に対する一種の意趣返しで、『米国が対抗しているのは中国とロシアである、だから俺は米国よりそちらへ行く』というメッセージだと思います。武器の調達先として米国を頼るのではなく、ロシアという選択肢もあるという姿勢を見せているのです。フィリピンとロシアは直接大きな利害関係があるわけではないので、ロシアへの接近に深い意味があるとは思いません。想像ですが、ドゥテルテ大統領はプーチン露大統領を自分と似たタイプの指導者だと考え、親近感を感じているのかもしれません。」

さて、日本にとって頭が痛いのは、南シナ海問題だ。今まで日本は米国と組み、フィリピンを前面に立てて、中国に対抗するという構図を描いていた。しかも中国の主張を退けたハーグ仲裁裁判所の判決も追い風になるはずだった。ところが、当のフィリピンが問題の棚上げを表明し、そのタ

ッグから離脱する可能性が出てきた。

柴田氏：「フィリピンは『米国とは組まない』と言っています。日米にとっては深刻な事態です。南シナ海問題の戦略・戦術を抜本的に組み替えなくてはならないおそれがあります。米国は南シナ海問題に対処する手がかりを失った形です。日本としては、米国、オーストラリア、ベトナムも含めた対中包囲網の中にフィリピンを踏みとどまらせる役割を担う必要があります。米国がフィリピンと口をきけない以上、対米追従ではない、日本の独自外交の腕の見せ所であるともいえます。」

ドゥテルテ大統領の国民の支持率は極めて高く、政策が逸脱してもあえて耳障りな助言をできる人が国内には見当たらない。安倍首相が大統領と個人的な信頼関係を築き、フィリピン外交にアドバイスできるようになれば、日本にとって大きな外交的成果となる。安倍首相はこれまでも強権的なリーダーとウマがあつてきた。ドゥテルテ大統領ともうまくやれるかもしれない。

<http://sptnkne.ws/c9SH>

ロシア、ウクライナ難民 110 万人以上を受け入れ

(スプートニク 2016 年 11 月 01 日 22:17)

© Sputnik/ Evgeny Yepanchintsev <https://goo.gl/5mbwe1>

ロシアは自宅を離れることを余儀なくされたウクライナ人難民を 110 万人以上を受け入れ、生活保護を与えた。このほかウクライナ難民家庭の児童 4 千人以上をロシアの有名大学に受け入れた。国連難民高等弁務官事務所をはじめとする国際社会は、ロシアのウクライナ難民の受け入れを模範的と認めている。

<http://sptnkne.ws/c9UX>

露国防省、アレッポの情勢とモスルの作戦の違いを説明

(スプートニク 2016 年 11 月 02 日 06:14)

© AFP 2016/ Bulent Kilic <https://goo.gl/E0y1zH>

ロシア国防省は、ジョン・カービー米 국무省報道官による、アレッポでの情勢とモスル奪還作戦の根本的相違についての声明にコメントした。ロシアイゴール・コナシェンコフ国防省報道官によると、アレッポでは 2 週間以上ロシア航空宇宙軍とシリア空軍が動いていないが、モスルは毎日米国空軍の空爆を受けている。さらに、アレッポでロシアとシリア政府は民間人のために 6 つの人道回廊を組織した。

コナシェンコフ報道官は「モスルで我々は、民間人の住む街区の、迫りくる『突撃』について耳

にする」と言い、この場合にはいかなる人道回廊にも話は行っておらず、「100 万都市に住んでいるのはテロリストだけのようだ」と付け加えた。

<http://sptnkne.ws/cAj8>

国際投資家、中国債権を買占めに

(スプートニク 2016 年 11 月 02 日 11:38)

© AP Photo/ Vincent Yu <https://goo.gl/ORJTtc>

中国人民元が I M F の特別引出権バスケット (S D R) に採用され、各国の中央銀行が国際通貨の多極化を積極的に図ろうとし始めたことから、外国人投資家の中国債権への需要が 4 倍に増えた。これまでの 11 回の四半期を総計すると中国債権の利回りがマイナスに転じたのはわずか 1 度で全体としては同時期の利回りは 25% に達している。2015 年の中国国債の購入は 120 億ドル。2016 年初頭からは購入額は 80 億ドルまで下がったが、これは対ドル元レートが 4.2% 下がり、これが投資家らの信用にネガティブに影響したため。

H S B C ホールディングスの発展市場分析課のポール・マイケル課長はこれについて「元へと外貨備蓄を緩慢に多極化するというポテンシャルは大きく残されている。しかも年金基金やミューチュアル・ファンドといったリアルマネートレードにとっては魅力は非常に高い」と語る。

中国市場の外国投資家らに対する門戸開放スピードは非常に緩慢。にもかかわらず、I M F で中国を担当していたカーネギー大学のエスヴァー・プラサッド教授も確信するように、国際準備通貨は 10 年も経過すればおよそ 10% のシェアが元になると予測されている。

ブルームバーグが世論調査を行った 11 人のアナリストの予測では 2017 年、2018 年の 2 年で外国人投資家らは合わせて 480 億ドルを中国国債に投資し、その筆頭には各国の中央銀行および国際、諸国間にまたがる組織となる。

ブルームバーグの調査では大多数が中国国債の買い付けで 2018 年待つまでには基本インデックスは 50% 上昇するとの予測が出た。こうした場合、国債はさらに買いが進み、平均でも 10 年で 7,500 億ドルの投資が流入することになる。

先に米国の著名な投資家ジム・ロジャーズ氏は、国際通貨基金 (I M F) の通貨バスケット (S D R) に中国の通貨、人民元が加わったことについて、人民元にとって有利になるとの考えを表した。

<http://sptnkne.ws/cAjF>

日本、米国のせいでロシアのプロジェクトへ融資を制限

(スプートニク 2016 年 11 月 02 日 13:12)

© REUTERS/ Jason Lee <https://goo.gl/fwvyHm>

国際協力銀行（J B I C）はロシアの複数の企業および金融機関に対し制限を強いた。11 月 1 日、ロシアの「レンブラー・ニュースサービス」通信が報じた。

報道によれば J B I C は欧米企業が撤退したプロジェクトには今後融資を行わない。J B I C はさらに、こうした「禁止」プログラムが日本の民間の金融組織 11 行からも融資を受け取っていないかどうかを確認する。この措置について「レンブラー・ニュースサービス」は、米国との軋轢を避け、欧州の対露制裁と矛盾しないためのものだろうとの見方を示している。

10 月 22 日、ロシアのズベルバンク（貯蓄銀行）は今年末までに J B I C から 40 億円の貸与を受け取ることが明らかにされていた。これらは極東のナホトカ近くのヴォストーチヌィ港の運営会社に対し、石炭運輸用の必要なプラント購入資金として融資される手はずになっていた。

<http://sptnkne.ws/cAkP>

米戦闘機 F 35 岩国配備へ、市長は容認

(スプートニク 2016 年 11 月 02 日 14:56)

◎ 写真: Heath Cajandig <https://goo.gl/tz1MgH>

米軍岩国基地（山口県岩国市）への最新鋭ステルス戦闘機 F 35 配備を巡り、岩国市議会の全員協議会が 2 日開かれ、福田良彦市長は「住民生活への影響が現状より悪化することはない。理解することとしたい」と容認する姿勢を示した。

岩国市では 2 日、市の米軍基地への米国の最新鋭ステルス戦闘機 F 35 配備をめぐる全員協議会が開かれた。この中で福田市長は住民生活への影響のこれ以上の悪化はないとして、配備容認への姿勢を示した。

福田市長は先月 10 月に米国を視察し、F 35 を運用する基地の現状を確認している。市長は帰国後の記者会見で騒音に関しては現在の岩国市の状況と差異はないとする感触を表していた。国への正式回答は岩国市の対応が決まり、県との協議が終了してから行なわれる。米軍岩国基地には来 2017 年、あわせて 16 機の F 35 が配備される計画。F 35 が米国外で配備されるのは岩国基地が初めて。

<http://sptnkne.ws/cAmp>

アレッポ 人道回廊を通じて脱出するために戦闘員が1人あたり300ドルを要求

(スプートニク 2016年11月02日 18:10)

© Sputnik/ Mikhail Alaeddin <https://goo.gl/RQvCic>

シリア北部アレッポで、武装勢力の戦闘員らが、一般市民に対し、人道回廊を通じて町から脱出するために15万シリア・リラ（約300ドル）を要求するビラを配布している。要求には、「ジャイシ・アル・ファタハ最高軍事評議会」の署名がある。

ビラには、「我々の指導部は、シリア軍によるアレッポの街区の封鎖と空爆による町の一般市民たちの苦しみレベルを認識している。我々の兄弟たちとの相談後、前線の我々の兄弟たちを支援するために、各人が町から去る可能性に対して約15万シリア・リラを支払うという条件の下で、我々は14歳未満と55歳以上の住民の脱出を許可する」と書かれている。

シリア軍とロシア軍は、犠牲者を未然に防ぐために8カ所に人道回廊を設置した。テロリストらはアレッポへの攻撃を続けており、最近では砲撃が激しくなっている。

<http://sptnkne.ws/cAsj>

露外務省、MI5の「ロシアの脅威」論に皮肉たっぷりにお返し

(スプートニク 2016年11月02日 20:57)

© Sputnik/ Eugene Odionkov <https://goo.gl/9mj5uC>

英国保安局（MI5）のアンドリュー・パーカー長官が英国はロシアからの脅威を受けていると発言した件について、ロシア外務省のマリヤ・ザハロワ公式報道官は皮肉たっぷりのコメントを発表した。

先にパーカー長官は英ガーディアン紙からのインタビューに対し、ロシアは英国の安定をますます脅かしており「より攻撃的な手段を駆使して」対外的な国益を主張するために「あらゆる国家機関を動員」していると指摘していた。ザハロワ報道官は自身のFacebookにこの記事への返答として以下のように記している。

「私はガーディアン紙に対して、MI5の長官はロシアが自国の対外政策を推し進めるためにあらゆる策を講じ、彼の国（英国）の安定を脅かしていると発言した件で確認のための質問があると書きました。『ではボリス・ジョンソン氏の外相ポストへの抜擢もクレムリンの仕業だ、とガーディアン紙はお考えなんですか？』ってね。」

<http://sptnkne.ws/cAsQ>

シリア関連で対露制裁を発動というのは嘘、米国商工会議所会頭

(スプートニク 2016 年 11 月 02 日 19:50)

© Sputnik/ Alexey Kudenko <https://goo.gl/VBAPZl>

対ロシア、シリア制裁を論じる話について、在露米国商工会議所のアレクシス・ロドジャンコ会頭はウクライナに関連して現在行なわれている制裁の延長を軽減するために使われている嘘（ブラフ）に過ぎないとの見解を示している。

10 月、ホワイトハウスのアーネスト報道官は、米国は欧州のパートナーおよび中東地域各国の政府と共にシリアにおけるロシアの行動にいかに対抗するかを話し合っており、新たな制裁を検討していることを明らかにしていた。

ロドジャンコ会頭はリア・ノーヴォスチからのインタビューに対して「シリアに関して新たな制裁を出すなどという話は私は嘘だと思う。これはウクライナに関する今の制裁の延長を軽くするために使われているのだろう。夏、欧州が制裁延長の決定を採ったとき、欧州諸国からは『これで最後だ』というなら仕方ない。あなた方（米国のこと）のためにやろう。おたく（米国内）ではもうすぐ選挙だから』という声が上げられていたから」と答えている。

<http://sptnkne.ws/cAtU>

ロシア アレッポにおいて戦闘の人的休止を新たに導入

(スプートニク 2016 年 11 月 02 日 21:19)

© Sputnik/ Mikhail Alaeddin <https://goo.gl/9dMlFH>

ロシアのショイグ国防相はアレッポに新たな人道回廊を開くことを決めた。ゲラシモフ参謀総長が明らかにした。新たな停戦体制は 11 月 4 日の午前 9 時から 19 時までしかれる。

<http://sptnkne.ws/cAux>

日本の金融庁、メガバンクなどにロシア融資拡大を要請

(スプートニク 2016 年 11 月 02 日 21:37)

© 写真: Host photo agency <https://goo.gl/MsTlQh>

日本経済新聞の報道によれば、先月 10 月、日本の金融庁は、メガバンクや地方銀行に対してロシア向けの融資拡大に向け協力を要請していた。これは 12 月に予定されているプーチン大統領の訪日に向け、ロシアへの協力体制を強化する動きの一環だという。しかしロシアには米国が経済制裁の

対象としている案件が多いため、専門家らは、米国でも事業展開するメガバンクは難しい立場に立たされるのではないかと指摘している。

<http://sptnkne.ws/cAyx>

アサンジ氏の友人 クリントン候補選対本部長メール漏洩の背後に誰がいるかを語る

(スプートニク 2016 年 11 月 02 日 22:26)

© Flickr/ Scott Beale <https://goo.gl/x9h5hr>

米民主党クリントン大統領候補の選対本部長ポDESTA氏のメール、そして民主党のデータ漏洩の背後には、ワシントンの公式筋がいる、との事だ。告発サイト「ウィキリークス (WikiLeaks)」の創設者ジュリアン・アサンジ氏の近い友人で、英国の駐ウズベキスタン大使を務めた経験を持つクレイグ・マレー氏は、スプートニク通信のインタビューに対し「ロシアはこの件に何の関係もない」と明言した。

マレー氏は「ああしたメールの漏洩元は、ロシアとは全く何の関係もない。漏洩元は、ワシントンの公式筋だ。あなたがもし、それが誰か知りたければ、ワシントンで探す必要がある」と述べている。

<http://sptnkne.ws/cA2m>

国連 アレッポで一般市民数十人を殺害したとして在野勢力を非難

(スプートニク 2016 年 11 月 03 日 02:27)

© REUTERS/ Abdalrhman Ismail <https://goo.gl/pqSThk>

国連事務総長報道官を務めるステファン・ドゥジャリク氏は、シリアの武装在野勢力を、アレッポにおいて国際人権規範に違反したとして非難した。ドゥジャリク報道官は、次のように述べた――

「一般住民の間でかくも多くの犠牲者が出たことは、在野勢力の武装グループが、非選択的攻撃及び予防措置と均衡の原則に関する国際的な人道的権利の基本的な禁止事項を果たしていないことを物語っている。」

武装在野勢力の側からの集中砲撃により、子供 10 人を含め、一般市民 30 人以上が死亡、数十人が負傷した。

<http://sptnkne.ws/cA8F>

有名な英TV司会者、トランプ氏を銃殺してしまえ

(スプートニク 2016 年 11 月 03 日 04:01)

© REUTERS/ Carlo Allegri <https://goo.gl/y4lLMc>

英国のTV司会者で動物・植物学者のデイビッド・アッテンボロー氏は「ラジオ・タイムズ」からのインタビューの中で米国の選挙結果に直接的に影響することが不可能な場合、非常手段に訴えることができると語った。

アッテンボロー氏は「単に彼（トランプ氏）を撃ってしまえばいい。我々は歴代の大統領らを見てきた。みんな犯罪を負っている者ばかりだ。われわれに他に一体どんな手段があるというのだ？」と語った。アッテンボロー氏はトランプ候補を退ける方法についてこうしたジョークを飛ばしたものの、この発言は波紋を呼んだ。米大統領選挙は11月8日に実施。

<http://sptnkne.ws/cAFu>

米国の政治的・社会的危機は、ロシアにおける「魔女狩り」を挑発した

(スプートニク 2016 年 11 月 03 日 07:44 タチヤナ・フロニ)

© Sputnik/ Mikhail Klimentiev <https://goo.gl/2TyifV>

プーチン大統領は、「米国版カラー革命」のためにドナルド・トランプ氏を利用している。ワシントン・ポスト紙の編集者の一人は、記事「Putin's hope to ignite a Eurasia-style protest in the United States」でこのように主張した。

ワシントン・ポスト紙の評論家は記事の中で、プーチン大統領は、彼が米国が起こしたと考える「カラー革命」に対して、自分がやられた通りのことをして仕返しし、米国に「復讐」する考えだと論じている。

そのためにプーチン大統領は、買収されたエリートたちがドナルド・トランプ氏を政権につかせることはなく、アンフェアなゲームが行われていると述べて、トランプ氏をあたかも利用しているという。まさにそれによってアウトサイダー候補のトランプ氏は、米社会の抗議の気運を煽っているというのだ。なお最近、ロシアのソチで、ヴァルダイ・クラブの年次総会が閉幕した。同総会では、主導的な役割を担う世界中の専門家たちが、世界政治やその未来の輪郭を議論している。

「スプートニク」は、ディスカッションクラブ「ヴァルダイ」の責任者で、雑誌「世界政治におけるロシア」の編集長を務めるフョードル・ルキヤノフ氏に、ワシントン・ポスト紙の記事に関するコメントを求めた—

「私には、このような推論を真剣に議論するのは奇妙なことのようと思われる。明らかなのは一つ。世界がさらに不可解なものとなり、それを操るのが可能であり、それを操るべきだと思

っている人々にとって、さらに操作が難しくなっているということだ。外敵と陰謀についてのこじつけの理論は、その後のカオス（混沌）の責任の一部を解く。これはどこにでもある。しかし今それと同じものを米国でも目にするのは驚くべきことだ。米国は常に自信満々の国だった。かつて米国がこのような意見を述べるのを自分に許したことはなかった。そのため、これは非常に奇妙だ。ロシア大統領はヴァルダイ会議で、クレムリンが共和党員のドナルド・トランプ氏を支持しているというのは『完全なるたわごとだ』と述べた。プーチン大統領はこれを、米国はバナナ共和国ではなく偉大な大国だとして論証した。しかし米国はロシアの介入を主張し、事実上、米国がバナナ共和国のレベルにあることを裏付けている。米国への接し方は自由だが、米国人は劣等感を持ったことがない。しかし突然このようなものが現れた。そして今、カラー革命の既存のステレオタイプの下で、情報の準備も始まった。これは実際のところ、計画通りに上手くいかず、どうすべきか分からない時の当惑の証ではないかと思われる。米国のエリートたちの不意を衝く、社会の予期せぬ変化に対する反応だ。エリートたちはすでにできる範囲で反応している。そして陰謀を模索し始めている。」

プーチン大統領は、ロシアとの関係改善の願望を表明するいかなる候補者も歓迎すると繰り返し述べている。ワシントン・ポスト紙にこのような記事が掲載されたのは、エリートたちの不意を衝いた米社会の予期せぬ変化への反応だ。そしてマッカーシー時代につきものの「魔女狩り」の精神で彼らを行動させるように仕向ける。なぜなら大統領選挙のプロセスは、予測とは全く異なる形で進んだからだ。ルキヤノフ氏は、次のように語っている―

「米大統領選挙でトランプ氏のような候補者が現れたのは、稀に見る現象だ。彼は、このような最も高いレベルに達するべきではない人物のように思われる。しかし彼は現れた。さらにバーニー・サンダース氏も、だ。異なるイデオロギーではあるが、本質的には同じことを反映している。上から押し付けられているものを引き離そうとする人々の数が増え続けている。これがエリートたちの『昏迷』を呼んだ可能性がある。そしてロシアに対する非難が始まった。プーチン大統領がトランプ氏と一緒にクリントン氏に対抗しているという話があったが、私はマッカーシズム時代以来、米国でそのようなものがあったのを覚えていない。そして実際のところ、米国人はパラノイアの感情にとらわれているのではないかと思い始めた。」

しかしルキヤノフ氏は、このような出来事は大統領候補者たちによる社会の失望だけではないとの見方を示し、次のように語っている―

「米国は現時点で、だいぶ前から存在するモデルのある種のパラダイムのシステムの崩壊に達したように思われる。私は、米国がこの内部の危機を克服することを全く疑ってはいないが、回復は何らかの新たな原則に基づいて行われるだろう。他の国と比較した場合、米国経済の発展は十分な説得力を持っているが、米国は現在ある種の（伝統や慣習などを）『打ち破る』時期にある。私たちが目にしているものは、その打破の始まりにすぎない。しかし米大統領選挙で誰が勝ったとしても、それが変わることは全くない。米国のありかたと世界における役割がどうあるべきかについて再考するプロセスは続く。」

与党のエリートたちにとってこのプロセスは痛みを伴う。なぜなら彼らはそれを予期せず、エリ

ートの交代を望んでいないからだ。しかしルキヤノフ氏は、彼らはそれを受け入れることになると考えている。同氏は、次期米大統領の予測を拒否したが、一連の状況をみると大統領になるチャンスはヒラリー・クリントン氏の方が多いと述べた。トランプ氏は、そのスキャンダルの為、チャンスははるかに少ないという。現在、結果を決める5～6の州の票をめぐる決戦が行われている。

<http://sptnkne.ws/cAFD>

韓国のスキャンダル：大統領はシャーマンと宗教家の予測で国の政策を構築した

(スプートニク 2016年11月03日 08:51 タチヤナ・フロニ)

© AP Photo/ Lee Jae-won <https://goo.gl/gMfXQ3>

韓国では、朴槿恵（パク・クネ）大統領の弾劾を求める声上がり、スキャンダルが新たな局面を迎えている。このようなことは韓国史上いまだかつてなかった。朴大統領は、友人の崔順実（チェ・スンシル）氏や、様々なペテン師たちに韓国の外交政策に影響を与えることを許したとして非難されている。

朴氏は、大統領就任以来、怪しげな経歴を持つ占い師や宗教家などの政治経験や学歴のない親友たちの影響下にあったことが分かった。これらの人々は朴氏にただ助言を与えていただけでなく、多くの場合、文字通り朴氏に重要な政治的決定を示唆し、政府の機密文書に多かれ少なかれ自由にアクセスすることができたという。激化するスキャンダルを背景に、世論の圧力の下、朴大統領は側近に辞表提出を要求し、人事を刷新した。韓国ではなぜペテン師が大統領の側近になるというようなことが起こったのだろうか？地元のマスコミがロシアの有名な歴史上の人物を思い出し、朴大統領の友人をほかでもない「韓国のラスプーチン」と呼んだのも偶然ではない。コリアの専門家、ゲオルギー・トロラヤ氏は、この状況について「スプートニク」に次のようにコメントした—

「状況は、韓国史上、実際に前例のないものだ。国の大統領が長年にわたって国の行政機関の職務とは全く関係のない人々の影響下にあったことが分かった。しかもある種のカルト宗教と関係している人たちだ。そしてこれらの人々は、朴氏に何をすべきか、韓国の外交政策をどのように構築すべきかを示唆していた。特に大騒ぎを引き起こしたのは、朴大統領の友人のチェ氏が、朴氏のスピーチの内容まで手直ししていたということだ。さらに彼女は超自然的な力を引用して、北朝鮮が2年後に崩壊するのを確実に知っていると主張したという。そして彼女のこれらの予測に基づいて韓国の国家政策が構築された。その他にも大統領の側近たちは、朴槿恵大統領の父親が大統領を務めていた時にもあったように、汚職にも関与した。当時資金はビジネスから集められた。そのため韓国にとって汚職スキャンダルは十分馴染みがある。しかし大統領の側近のラスプーチンのような人たちによるある種のグループが国の決定に影響を与えていたということは、実際にスキャンダルだ。そこで住民も国の政治勢力も堪忍袋の緒が切れたのだ。」

これは、韓国大統領の弾劾が初めて現実のものになることを意味しているのだろうか？またこれ

は、韓国の政治勢力の今後の勢力バランスに影響するのだろうか？トロラヤ氏は、次のように語っている―

「人々は、弾劾や大統領の退陣を要求している。一方で、国の主要な政治勢力は、与党陣営も野党も、実際のところ、それほどこれに関心を持ってはいない。彼らは大統領選挙の年となる来年のことを考えており、それに向けて万全の準備を整えようとしている。弾劾が原因でいま朴氏が退陣したら、60 日以内に選挙を実施しなければならない。主な政治勢力は、前倒し選挙を行う準備が整っていない。そして現実的な大統領候補者もない。私は、大騒ぎになってはいるものの、いずれにせよこのスキャンダルは穏便に収まるのではないかと考えている。なぜなら事実上、朴氏にはいかなる権力も残っていないからだ。彼女は残りの任期で名ばかりの大統領となるだけだ。あらゆる決定は機関が準備し、承認するだろう。」

朴大統領の任期中に承認された韓国にとって重要な決定の一つは、米国のミサイル防衛システム「THAAD」の配備だ。これが、朴氏の友人女性やスキャンダルを引き起こした側近たちの影響下で承認されたかどうかは今のところ分からない。しかし世論は、政府の方針がTHAADの配備先として提案された場所に住む人々の大きな抗議を引き起こしたことを確かに知っている。新大統領の下で、ロシア、そして何よりも中国がネガティブな反応を示したこの決定が見直される可能性はあるのだろうか？ トロラヤ氏は、次のような見方を表している―

「決定の見直しはもちろん可能だが、いくつかのものは事実上元に戻すことはできない。注目に値するのは、開城工業団地の閉鎖も恐らく朴氏の友人女性の影響下で実施されたということだ。しかし今その操業再開は不可能に思われる。THAADはまだ配備されていないが、韓国の次期大統領は、THAADの韓国への配備に関する以前の決定に同意せざるを得ないのではないだろうか。これは単に、すでに出来上がった戦略的状況を事情としたものだ。」

スキャンダルを背景に、朴大統領の支持率は急速に低下しており、近いうちにも同国の盧武鉉（ノ・ムヒョン）元大統領（汚職スキャンダルで自殺）の記録を打ち破るかのようだ。盧氏の任期終盤の支持率は約5%だったが、朴氏の現在の支持率は14%で、低下が続いている。

<http://sptnkne.ws/cAFE>

ガスプロムと三井 小規模LNGプロジェクトにおける協力について討議

（スプートニク 2016 年 11 月 03 日 10:10）

© AFP 2016/ Eric Piermont <https://goo.gl/JjQC9P>

ガスプロムと三井は、液化天然ガス（LNG）生産の小規模プロジェクトにおける協力の見通しについて話し合った。ガスプロムが伝えた。また両社は、ロシア極東及びアジア太平洋諸国での液化天然ガスの船への積み込みに関し、共同で技術的経済的さらにはマーケティング的な分析を実施する。今年9月、ガスプロムと三井は、ロシア極東、日本及びシンガポール向けに船に燃料を踏

み込む覚書に署名した。また両社は、「サハリン2」液化天然ガス工場の第三ライン建設に関する協力についても話合った。

<http://sptnkne.ws/cAFs>